

いながわ

議会だより

第**109**号

平成15年(2003年)11月18日

発行：猪名川町議会
編集：議会広報特別委員会

〒666-0292 兵庫県川辺郡
猪名川町上野字北畑11-1
TEL(072)766-8710



「できた〜っ!!!」
—親子クッキング(子育て学習センター)—

議会の新体制決まる

2

議案審議／(仮称)障害者福祉センター建設に着手

4

委員会の活動報告／50路線を町道認定

6

一般質問／7人が町の考えを聞く

8

こどもたちの声

11

編集後記

12

議会の新体制決まる

議長に山口 昌氏 副議長に時崎 巖氏を選任

10月7日、町議会議員選挙後、最初の議会を開き、正・副議長には指名推薦により、議長に山口昌氏、副議長に時崎巖氏を選任。

その後、議会運営委員会、常任・特別委員会委員等の選任を行い、新しい議会の構成を決定した。



副議長
時崎 巖 (3期目)

一般会計決算特別委員長、広域ごみ処理施設建設調査特別副委員長などを歴任



議長
山口 昌 (6期目)

副議長、議会運営委員長などを歴任

就任ごあいさつ

住民の皆様には、日頃から町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。このたび、町議会臨時会におきまして議長・副議長に就任いたしました。誠に身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重さを痛感している次第でございます。

さて、社会経済状況が大きく変化する中、今、地方自治体を取り巻く環境は非常に厳しい状況ではあります。少子・高齢化社会への対応、教育問題、生活環境の整備等、住民が安心して暮らせるまちづくり、さらに取り組んでいく必要があります。

これら諸課題の解決に向け、議会としても皆様方のご理解やご協力を得ながら、住民の声を町政に反映させ、住民福祉の向上に全力を傾注してまいります。

どうか、皆様方におかれましては、議会活動により一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

6会派を結成

〈日本共産党議員団〉

団長 池下 哲辰
会員 上坊 辰雄

〈公明党〉

会長 南 初男
会員 新賀 保男

〈清流会〉

会長 関 功男
会員 西谷 昌司
会員 福井 昌司

〈リベラル猪名川〉

会長 中島 孝雄
会員 時崎 巖

〈政和会〉

会長 切通 明正
会員 小坂 正男

〈民政会〉

会長 福田 典治
会員 道上 善崇
会員 山崎 福善
会員 山崎 福善

〈会派に属さない議員〉

尾川 悦子
福井 澄栄
山口 昌

総務企画常任委員会

委員長 関口 功 男
副委員長 池上 哲 男
委員 中島 孝 雄 福井 澄 榮
山口 昌 山崎 福 市

議会運営委員会

委員長 下坊 辰 雄
副委員長 福井 昌 司
委員 切通 明 男 中島 孝 雄
道上 善 崇 南 初 男

文教厚生常任委員会

委員長 福本 典 子
副委員長 小坂 正
委員 尾川 悦 子 時崎 巖
福井 昌 司 南 初 男

建設環境常任委員会

委員長 新賀 保
副委員長 西谷 八 郎 治
委員 切通 明 男 下坊 辰 雄
福田 長 治 道上 善 崇

議会広報特別委員会

委員長 時崎 巖
副委員長 西谷 八 郎 治
委員 池上 哲 男 小坂 正
新賀 保 福本 典 子

第二名神自動車道路対策特別委員会

委員長 福井 昌 司
副委員長 福井 澄 榮
委員 切通 明 男 下坊 辰 雄
時崎 巖 西谷 八 郎 治
福田 長 治 道上 善 崇
南 初 男

特別会計決算特別委員会

委員長 中島 孝 雄
副委員長 尾川 悦 子
委員 池上 哲 男 小坂 正
関口 功 男 福田 長 治
福本 典 子 南 初 男
山口 昌

一般会計決算特別委員会

委員長 山崎 福 市
副委員長 福井 澄 榮
委員 切通 明 男 下坊 辰 雄
新賀 保 時崎 巖
西谷 八 郎 治 福井 昌 司
道上 善 崇

議会選出の 各種委員

猪名川上流広域ごみ処理施設
組合議会議員

小坂 正・中島孝雄

福田長治

民生委員推薦会委員

福本典子

都市計画審議会委員

小坂 正・新賀 保

下坊辰雄・中島孝雄

山崎福市

尼崎市立勤労者レクリエーシ
ョンセンター運営協議会委員

南 初男

青少年問題協議会委員

池上哲男

ひこくちメモ

「常任委員会」

多様化する行政事務や、議
案等を専門的に審査する。

議員は3常任委員会のい
ずれかの委員になっている。

「特別委員会」

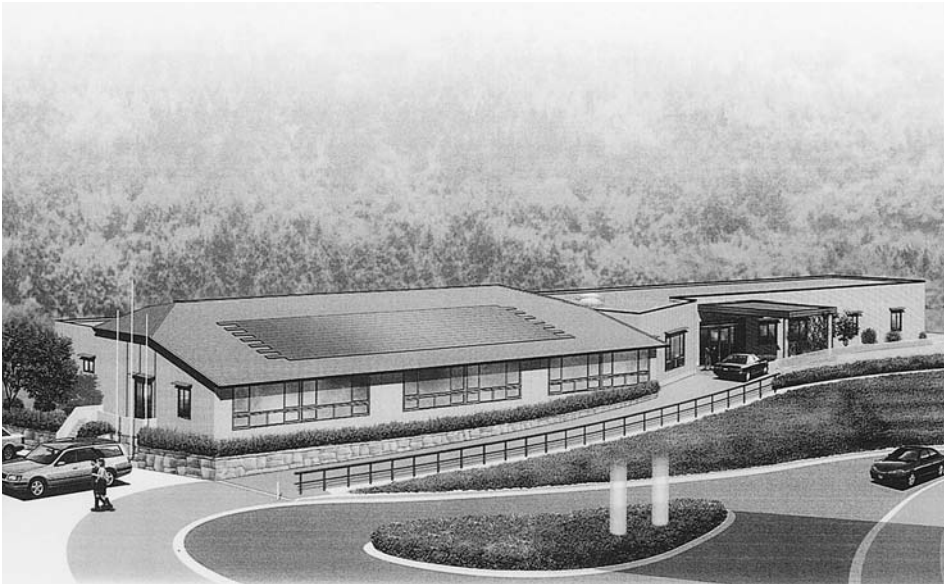
審査事項がいくつかの常任
委員会にまたがる場合や、特
殊性などから必要に応じて設
置する。

「議会運営委員会」

議会が円滑に進むよう議事
日程や運営等を協議する。

9月定例会を2日から9日まで開き、教育委員の選任や、町道路線の認定など15議案を慎重に審議し、いずれも原案どおり同意・可決した。

（仮称）障害者福祉センター 建設に着手



（仮称）障害者福祉センター完成予想図

教育委員の 選任に同意

山田恵美子氏の選任に同意。
任期は19年9月30日まで。

工事請負契約の 締結に同意

▽（仮称）障害者福祉センターを建設
障害者の自立と参画を支援する拠点施設として建設するもの。
・工事費 1億9,740万円
・工事期間 15年9月5日～16年2月27日

▽道の駅いながわに農産物販売センターを増設
農産物出荷量や利用者数の増加に対応するため増設するもの。
・工事費 8,547万円
・工事期間 15年9月5日～16年3月25日

（主な内容）
○農産物販売センター（増設）
建築面積 約447㎡
○アーケード（新設）
延長 約84m

補正予算

会計別の補正額

会計	補正額	補正後の総額
一般会計	2億1,046万9千円増額	89億6,546万9千円
国民健康保険特別会計	1,970万1千円増額	14億9,268万円
介護保険特別会計	2,536万7千円増額	10億3,530万4千円
老人保健特別会計	286万1千円増額	18億2,836万3千円
農林商工業振興資金特別会計	2,338万3千円増額	4,542万円
下水道事業特別会計	2億7,346万3千円増額	12億6,331万2千円
奨学金特別会計	186万円増額	956万1千円

おもな内容

・焼却炉改修	490万円
・緊急通報機（8台分）	67万円
・奨学金	186万円
・移動図書館車排ガス減少装置	22万円

付託議案の審議結果

- ・手数料条例の一部改正
- ・水道事業給水条例の一部改正
- ・町道路線の認定及び変更

（建設環境常任委員会）

- ・14年度水道事業会計決算の認定

可決（全会一致）

（特別・企業会計決算特別委員会）

可決（賛成多数）



新議席でスタート

町議会議員として、長年本町の発展に尽力された次の4氏を自治功労者に承認したものを。
森田良一氏は昭和62年から4期、その間町議会

自治功労者を承認

議会議員の中から選ばれる監査委員に、道上善崇氏が選任同意された。同議員は、平成7年9月初当選以来3期目で、文教厚生常任委員長などを歴任。

監査委員に道上善崇氏

第318回

10月臨時会

町議会議員の任期満了による選挙後、初の臨時会を10月7日と8日の両日開いた。議案審議に先だち、議長に山口昌氏、副議長に時崎巖氏が選ばれたのをはじめ、各常任委員会委員などを選出。2日目は、監査委員の選任や自治功労者の推薦について同意・承認した。また、平成14年度一般会計・特別会計決算の審査を特別委員会へ付託した。

議長、副議長などを歴任。
小森千加子氏は昭和62年から4期、その間監査委員、総務文教委員長などを歴任。
榊川啓次氏は、平成3年から3期、その間町議会副議長、民生福祉委員長などを歴任。
國田頼雄氏は昭和58年から5期、その間監査委員、産業建設委員長などを歴任。

お知らせ

☆議会・委員会を傍聴しませんか

議会では、みなさまの身近なことを論議しています。

まちづくりを一緒に考えてみませんか。

傍聴の手続きは簡単で、当日、事務局で受付簿に記入していただくだけで傍聴できます。

(本会議20名、委員会10名まで)

☆今後の議会日程

定例会の開会予定日は次のとおりです。

ただし、議事の都合により変更する場合があります。

- ・12月定例会 12月10日～24日
 - ・3月定例会 16年2月25日～3月26日
- 日程については、ホームページでもご覧いただけます。

☆議長交際費の閲覧

閲覧内容は、支払日、支払目的、金額などで、相手先については原則公開ですが個人情報を含む場合は非公開となります。

4月分以降を3カ月ごとにまとめ、最終月の翌月末に閲覧できます。閲覧を希望される方は、議会事務局で閲覧受付簿に必要事項を記入していただければ閲覧できます。

● お問い合わせは… ● 議会事務局へ TEL.766-8710

50路線を町道認定

委員会の活動報告

9月5日、午前10時から委員会を開会。付託3議案を審査。

手数料条例の一部改正について

路線バス等の車体利用広告物に係る表示面積の制限の一部を改正するもの。

水道事業給水条例の一部改正について

計測単位を明確化するため、月の中途に水道を使用し、または使用をやめた場合の料金は、その日の属する月分として算定する



高速道路完成を見込んで整備される上野5号線

として不透明

8月25日、午前10時から委員会を開会。

昨年7月の特別委員会開会以来、15年3月と8月に猪名川地区対策協議会を開催。

また、庁内では管理者協議を行い、6車線の見込みで整えているが見通しがはつきりせず、地元設計協議は混乱を招くために見合わせている状況。

7月8日には大阪、さらに、7月11日には東京都、国土交通省や日本道

水道事業会計決算を認定

特別・企業会計決算

9月定例会に「14年度水道事業会計決算の認定について」が上程され、決算特別委員会を設置。水道事業会計予算が適正に執行されたか、効率的な会計運営を図り得たかを審査した。

質疑の主な内容は、

Q 給水停止の実施状況は、

A 一定の滞納者に対して事前に通知した上で実施している。

Q 安全な水を供給するための鉛管対策と老朽施設の整備・改修計画は、

A 鉛管対策については、町内の約3,850世

ひとくちメモ

「有収率」

配水量のうち漏水などを除き、料金収入のある水量の割合。

もの。

町道路線の認定及び変更について

県道川西篠山線猪名川バイパスの開通に伴い町に移管される県道の一部及びその他の生活道路について、町道認定基準に基づき路線の認定及び変更を行うもの。

旧県道となる差組紫合線をはじめ45路線を新規認定、5路線を変更認定する。

Q 幅員の狭い道や急な坂道等、認定基準や条件を満たしているのか。また

た、民有地の問題は。

A 幅員の最低基準1.8m等適合している。民有地は無償提供で同意書をもらっている。

Q 特に県道から町道になる路線の崩土や倒木、あるいは歩道の不備等、通行者の安全性は。

A 町道管理者として良好な維持管理に努める。なお、主要な認定路線については現地視察を行う確認した。

以上3議案について慎重審査の結果、いずれも全会一致で可決した。



現地を視察

国の動向は依然

第二名神

路公団へ早期着工の要望を行った。

詳細は7月15日号の町広報に掲載、この報告を受けた。

委員会としては、国の状況が不透明だが、情報を早くつかむよう、また、都市計画が決定されている住居等は問題点を多く抱えていると思うので、地元と密接な連絡を取り、説明し了解を得るよう、なお一層の努力をするよう要望した。

帯、40%の給水管に鉛管が使用されていたが、500世帯については改良済である。老朽施設の改修についても、会計全体のことも勘案し、総合的な見地から21世紀の水道事業のあり方を見据えたマスタープランを策定している。

討論

Q 県水受水の申込水量を押しやることはできないのか。

A 申込水量については、4年ごとの申込みとなる。全体の人口、自己水の活用等を勘案し申込みを行っている。

慎重審査の結果、賛成多数で可決した。

反対 中、努力されたことは評価するが、14年度は料金体系等が同じなので

賛成 反対。

有収率が1.6ポイント向上し、また、湯水にかかわらず給水制限もせず供給できたことを評価し賛成。



水を大切に



小森千加子 議員

Q 「町づくりから人づくりから」の考えは

A わかる授業・生活の中に生きる授業を提示

明日に生きる力はくむ

NIE(教育に新聞を)

学校・家庭・地域とともに

43都道府県が参加してNIE全国大会を開催。その討論会で教師・行政そして新聞社が一体となって取り組む必要性が強調された。

問 新しい事への挑戦は大変だが「町づくりは人

づくりから」と言われる。

少子化が進み将来の猪名川町を託す絶対数が減っている。大切な人材育成と考へ、学校が教師がと責任の転嫁をせず、勇断をもって行政指導で取り組む考へはないか。

教育長 多くの情報を持つ新聞は、児童・生徒にとつて興味、関心を引き出す効果的な教材と考へる。NIEの教育効果を期待し、小・中学校の各教科部会で、新聞を活用した授業の交流を積極的に行うよう指示している。

児童・生徒に「わかる授業・生活の中に生きる授業」を提示し、NIEの「スローガン」「21世紀を開く」につなげる。補助教材の選択・決定は、基本的な部分を大切にしながら、新聞活用も各教科部会の交流を活発にしてい

く中で広めたい。

問 昨年より小学校3年生から中学校3年生まで、総合的な学習の時間が設けられ、指導の目標



山崎 福市 議員

Q 総合的な学習の時間を特色づくりに

A 地域や学校の特色に応じ対応している



収穫体験に取り組む児童たち

から内容に至るまで全てを、学校の創意工夫に委ねられた点で画期的な事である。この主旨を理解された教育活動は。

教育次長 教科の枠をこ

えて国際理解、情報、環境、福祉などの児童・生徒の興味、関心に基づく課題に取り組み、ある小学校では地域学習をテーマに「清流猪名川」、「資源の活用意識の高揚」等調査・研究を行い発表するなど、自主的学習の姿勢、調べ方、まとめ方の成果が身につ

てきている。

問 総合的な学習の主旨に基づく特色ある学校づくりに、地域の教育力を生かす施策は。

教育次長 地域に関する教材を中心にカリキュラムの開発、地域の人々と

一体になった教育活動の取り組みを計画しており、教育委員会としても地域の教育力を大切にして、地域に誇りの持てる教育活動を進めるために、地域の人材をはじめとする教育資源の活用を努める。

Q 郷土文化の発掘・顕彰・保護の現状と今後は

A 貴重な文化遺産の保存継承に努める



桝川 啓次議員

問 中学校のクラブ活動の現状は。

教育長 3中学全体で生徒数がここ5年間で220



杉生・西畑地区の子ども歌舞伎「練り込み」

名減少、教員数も減少。結果3年間で5つの運動部が廃部または休部となり、部活動の存続は困難な状況。今後の部活動のあり方について、学校・地域の方々からも広く意見を聞きながら検討していく。

問 郷土の有形・無形の文化財・研究者などの掘り起こし、顕彰・保護・活用などの現状と今後について。

教育長 本町には、戸隠神社本殿の国指定文化財をはじめ、県指定10件、

町指定17件、あわせて28件の文化財がある。

無形文化財として浄瑠璃、獅子舞などが残されている。個人や団体活動の中で、植物の分布調査、民話集の発行、史跡研究など、様々な分野の研究者、研究成果も数多くある。

今後とも貴重な文化遺産の保存継承に努めるとともに、各分野の情報もより多くキャッチできるよう努め、研究成果の発表・資料収集・保存に努める。

Q 乳幼児医療費に本町独自の減免を

A 現時点では現行の水準が適切と考える



池上 哲男議員

問 乳幼児の医療費について、すでに県下の半数以上の41市町が県の制度を超えて独自減免を行っている。特に3歳ごろまでの乳幼児期の健康管理が健全な成長を保証する。ちよつとした病気でも病院にからなければならぬ。親としては不安な時期であり、ま

た、お金のかかる時期でもある。独自減免を行っている自治体とそうでない自治体の違いは①少子化対策②命を守る姿勢にある。独自減免を行っている自治体の乳幼児を持つ家庭は暮らしが大変で、本町の家庭は楽ということはない。親として町独自の減免を行うべき。

住民生活部長 県の制度に基づいて行っている。保護者の負担がいかにあるべきかは、その自治体を取り巻く環境によって相違があり、現時点では現行の水準が適切と考える。将来的には、国の施策の動向、次世代育成支援推進法に基づく「子どもを産み育て易い環境づくりの行動計画」策定課程などを機会として、その都度点検、検討を行っていく。



子育て家庭に医療費の支援を

Q 国保会計への一般会計からの繰り入れは

A 国が示すルール分を繰り入れている



下坊 辰雄議員

問 国民健康保険税の引き上げは、長引く不況が続いており、住民の生活は厳しい

状況にある。町の国保会計は数年来黒字であり、基金もため込んでいる。しかし、国保税の県内調査では高い方から4番目、一般会計からの繰り入れは最低から3番目で住民の負担が重くなっている。保険証がなく病院へ行けない住民がいるのは、安全・安心のまちははいえない。町独自の対策として一般会計からの繰り入れは、

住民生活部長 14年10月からの高齢者医療制度の改正により、年々国保への負担増が懸念されることであり、国が示すルール分以上は考えていない。

子どもの安全通学路は 以前の質問に対して理事は、できることから設置するとの答弁があったが、その後、県に対してどのように働きかけたのか。

建設部長 県道の交通安全全施設整備については、小区間でもできる部分から施設整備がなされるよう、県宝塚土木事務所と緊密な連携を取り要望している。



住民の健康を支える国民健康保険



特別養護老人ホーム「天河草子」



福井 澄栄議員

Q 特別養護老人ホーム入所指針を策定せよ

A 介護に支障をきたす人を優先入所している

問 従来申込み順に入所順序を決定していたが、介護の必要性、困難性(痴呆等)、緊急性を総合的に評価し決定するべきではないか。

住民生活部長 痴呆等、介護に支障をきたすなど、真に必要な人を優先入所することをすでに各施設

で実施している。

町内小・中学校で少人数学級の導入を

問 山形県では全国に先駆けて、18〜33人の学級にすることを導入した。「教育は待ったなし。教育は今受けないと将来何十年と滞る」という方針で導入しているが。

教育長 国・県の制度改正の動向を見守りたい。

エコ給湯器に補助金を

問 オゾン層破壊ゼロ、温暖化係数も1の自然冷媒CO₂を採用しているので環境への負担を大幅にカット。国も認めた次世代の省エネ環境対応の給湯器で、補助金も付いている。町も補助金を付け、普及に力を入れてはどうか。

環境経済部長 検討すべき時期がくれば、検討していく。

Q 要望活動に係わる行動指針の考えは

A 申出者により対応は変えていく



國田 頼雄議員

問 栃木県知事が「公務で会う人は肩書のある人が多い。そういう人の話は業界や団体などの利益誘導になりがちだ。肩書のない人の意見こそ行政が求める常識がある」と誠にいいことを言っているが同感である。

特に市民社会の利益を損

なうような「不当な口利き」

を排除するよう、先の見えない中央の深刻な「政治と金」を横目に、職員に対する働きかけに関する取扱要領（上野市）、県内で選出された一定の公職にある者からの提言要望意見等に関する取扱要領（鳥取県）、近江八幡市コンプライアンス条例、公共事業の入札及び契約に関する宮城県議会議員の調査要望活動に係わる行動指針、一定の公職にある者等からの提言要望意見等取扱いに関する要領（相生市）など、先進的な取り組みの地方自治団体が生まれつつある。本町も取り組む考えは。

企画部長

住民の意見・

提言などを伺いながら、施策の展開をしている。申出者の役職や立場の違いで対応を変えることはない。

町政に提言できる「町長への手紙」



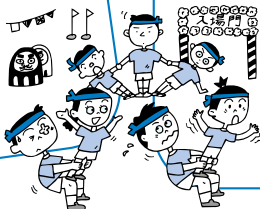
こどもたちの声



運動会への道のり

松尾台小学校 6年 川崎 浩輝

6年生は運動会で組体操に取り組みました。最初は土台になることが多かったのですが、上に乗る人がケガをしないよう、痛くてもふんばり気を引きしめて行いました。練習は大変だったけれど、技が成功した時は、「ヤッター。」という気持ちになります。ほくは、組体操を通して、友達と心を合わせ、協力する大切さを学びました。



はじめての体育大会

中谷中学校 1年 川端 鮎美

体育大会を終えて私が一番思ったのは、やっぱり小学校の時と比べると、断然迫力が違うという事です。組体操やマ스ゲームは、見ているだけで、全員がひとつになっっているなと感じました。途中で降り出した雨を吹き飛ばしてしまおうような、熱気あふれる体育大会でした。

第14期 猪名川町議会議員



山崎 福市

時崎 巖

尾川 悦子

福本 典子

池上 哲男

新賀 保

山口 昌

道上 善崇

小坂 正

切通 明男

中島 孝雄

福井 昌司

福田 長治

関口 功男

西谷 八郎治

下坊 辰雄

福井 澄榮

南 初男

編集後記

山々が紅葉で飾られ、川面がそれを映す、猪名川町にとって美しい季節がめぐり、町のあちこちで運動会に、祭りにと人々の元気なかけ声が聞かれる頃となりました。

さて、猪名川町議会も、9月の選挙を経て新しい議会構成でスタートしました。

議会広報特別委員会の委員も若干の変更はありましたが、これまでに数回の賞を受賞した主力の委員がそのままですので、今後益々、広報紙の充実を目指し、地方分権下、地方議会の活性化が強く求められている今、住民と議会をつなぐ、よりよい紙面づくりに努めてまいります。



私たちが編集しています（議会広報特別委員会）



議会だよりは再生紙を使用し、地球環境にやさしい大豆油インキで印刷しています。